

花咲き山

令和2年度
飯豊町立飯豊中学校
第1学年だより
第35号
2020.11.27
文責：小松正義

「私だけじゃない。」 「～に言われました。」

言い訳の常套句です。こういう言い訳をするようには育てたくない、と思いながら学校生活を送っていますが、生徒の口から何度も聞いています。まだまだ育てていないなあと反省しきりです。

「私だけじゃない。」＝「他の人もしているから、べつにいいでしょう。」

「～に言われました。」＝「私が決めたことではありません。」

と受け取ることができます。どちらも自分事としてとらえていない、悪いのは私ではないと逃げている言動です。何とか自律できる大人に近づいていって欲しいと願っています。

学年自治会が考えて、「提出物バトル」を提案し取り組んでいることは、33号でも紹介しました。ところが結果が良くないのです。「やるべきことはやる。」ことができていない人が多いのです。おそらくできていない人は、「私だけじゃない。」を理由に「提出物は出す。」という当たり前のことを忘れてしまっているのです。3年生の学年通信36号にも、「慣れが一番怖いです」というタイトルで文章が載っていました。（ホームページで閲覧できます。）

人間は易きに流されやすいものです。まさに今、提出物については1年生の中で、悪い方の慣れに流れているのです。

「昨日～と説明したよね。」「でも、お母さんに言われたから・・・。」最近職員室であった会話です。説明を聞いたのはお母さんではありません。しかも生徒自身に関わることでの会話です。説明と違うことをお母さんがしようとしていたら、「～と言う説明だったから、～してね。」とお母さんに伝えなくてははいけません。そもそも、しっかり説明した上でお母さんをお願いするのが筋というものです。

2つの実例をきっかけに、家庭でも、少し話題にしてみてください。



モニタープロジェクトで温かい気持ちに②

2組 長岡 和佳葉

自分のモニターの相手にどんなプレゼントをあげようか考えて、普段あまりしゃべらない相手にほめ言葉のプレゼントをあげることができました。私もあまりしゃべらない人から「頑張れ。」という言葉ももらってうれしかったです。

モニターの予想で、私の相手でない人から、「一緒にプリント探してくれてうれしかった。」と言ってもらい、普段から自然と内緒のプレゼントをあげることができていたんだなど、少しほっとしました。

一組 菊地 陽音

私ははじめてモニターをやって、相手に優しくしてもらおうと、とてもうれしいことを改めて知りました。実際にしてみると、あまり話さない人だと、内緒にするのは難しいと思いました。だから、これからはみんな同等に接することが大事だと思います。予想シートをもらった時、当たってなくてももううれしかったです。もっと回数を増やすことで、もっと楽しくモニターができると思いました。

1組では、普段から誰にでも優しくしている人に、予想シートがたくさん集まったそうです。2組では、予想シートがいろんな人に分かれていたと聞いています。学級にも個性が表れています。

1学年部会行事 予定通り行います。よろしくお願いします。

11月29日(日)

- 8:50 登校完了
- 9:00～ 授業参観 1組 学級活動(体育館)
2組 国語(多目的ホール)
- 10:00～ 全体会(1年生の様子について)
- 10:15～ 学級懇談会(SNSの使用について)



- ※暖房器具も準備しますが、体育館、ホールについては**防寒対策**をお願いします。
- ※**上履き**の準備をお願いします。
- ※駐車場は、体育館東側、駐輪場西側駐車場、両方ご利用いただけます。
- ※子ども達は机・いすなどの準備があります。**余裕のある登校**にご協力を。

